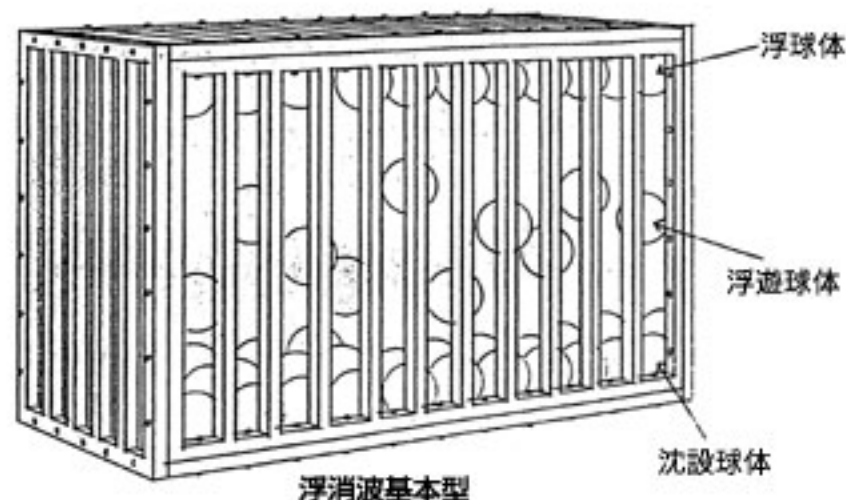


## 浮き消波構造体による海岸浸食防止工法

### 〔技術・製品の概要と特徴〕

金属製の箱型フレームの中に比重の異なる3種類の球体を容積率40～70%の範囲で収容し、回転しながら寄せてくる波浪を球体の運動エネルギーに変換し消波する機能を有する浮き消波構造体を基本とした海岸浸食防止工法。

3種類の球体は浮力を持たせた中空球体、消波球体、底から巻き上げる波を消波する比重3～4の重量球体で、これらを箱型フレーム内に入れて水中に投入するとバランスよく海中に浮かび、波のエネルギーが消される仕組み。



### 〔用 途〕

- (1) 海岸に設置することでテトラポットに代わる波による浸食の防止
- (2) 沈没船、座礁船の周囲に仮設することで消波しながら流失油の回収

### 〔希望する技術移転の(1)形態・(2)相手先・(3)地域〕

- (1) 特許実施権供与、共同研究開発
- (2) 企業規模不問
- (3) 国内・海外いずれでもよい

### 〔開発段階〕

試作・実験（完了） 製造・販売実績（無）  
関連特許（有）

### 〔提供可能資料など〕

技術資料、特許公報